

## 令和6年度ジャパンリンクセンター運営実績

令和7年3月31日  
ジャパンリンクセンター運営委員会

### 1. 委員会、メンバーミーティングの実施

#### (1) ジャパンリンクセンター拡大運営委員会の設置

より広い意見を集め、公平性・透明性のある事業運営を行うための拡大運営委員会を設置した（令和6年7月）。JaLC 拡大運営委員会では、運営委員4名に加え、JaLC 会員や有識者など幅広いメンバーで構成した拡大運営委員が参加し、JaLC 事業運営やIT 技術に関する意見交換の他、イベントの企画や運営も行う。

令和6年度は拡大運営委員会を2回開催した（9月、3月）。また、第11回対話・共創の場の企画や、開催当日のセッション進行、講演、意見交換会などに拡大運営委員が参加した。

#### (2) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を合計4回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターの web サイトで公表した。

#### (3) 「対話・共創の場」（メンバーミーティング）

令和7年1月27日に「対話・共創の場」を現地会場とウェビナーのハイブリッドにて開催した。今年度は、現地参加者限定の意見交換会を実施した。

### 2. サービスの開発、運用および管理

#### (1) サービスの開発・調査等

次の開発・改修を行った。

- DataCite スキーマ改定に伴う「研究データ」の情報登録・提供機能拡充

DataCite の新メタデータスキーマ 4.5 のリリースに伴い、JaLC 「研究データ」の情報登録・提供機能を以下の通り拡充した。令和6年11月27日リリース。

1. 情報登録機能の拡充
  - (ア) リソースタイプの追加
  - (イ) 関係性タイプの追加
  - (ウ) 出版社 ID 関連の属性の追加

2. 情報提供機能の拡充

OAI-PMH 及び REST API にて上記1で拡充した項目を出力可能にした。

## (2) 運用

引き続きシステムの安定運用、脆弱性対応、サポート切れが近いソフトウェアのバージョンアップ等への対応を、実施した。

### ① アプリケーション等のバージョンアップ

令和6年度中にサポート終了(EOL)を迎えるアプリケーションフレームワークについてバージョンアップを行い、新バージョンで正常に動作するように必要なシステム改修を行った。

### ② OSバージョンアップ及びシステム再構築

使用しているOSのサポート期限が近づいたため、適切なバージョンのOS、ミドルウェア、その他ソフトウェアを使用した新しいシステム環境を再構築し、現行システムから全てのシステム・データを移行及び最適な状態に調整した上で、サービス切り替えを実施した。

## 3. DOI登録機関連業務

### (1) DOI登録業務

過年度に引き続き、正会員の入会対応および準会員へのDOI prefixの払い出しを行った。その結果、会員数、DOI登録件数は、表1のとおりとなった。

表1. 会員数およびDOI登録累計件数の推移（令和7年3月末時点）

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
正会員数	25	29	37	43	49	56
準会員数	1,131	1,518	1,814	2,060	2,250	2,463
DOI登録件数 (内訳)	3,189,377	3,457,584	5,330,029	8,155,335	8,529,611	8,790,850
・論文	2,937,916	3,193,160	4,941,494	6,701,165	7,028,298	7,240,670
・書籍、報告書	248,488	261,175	309,559	1,317,654	1,341,739	1,369,414
・研究データ	1,545	1,719	75,875	133,152	156,000	176,019
・eラーニング	1,427	1,520	1,891	2,120	2,321	3,357
・汎用データ	1	10	1,210	1,244	1,253	1,390

年度	R3	R4	R5	R6
正会員数	63	73	76	81
準会員数	2,681	2,968	3,168	3,296
DOI 登録件数 (内訳)	9,358,545	10,486,703	12,443,707	13,455,430
・論文	7,505,799	7,934,514	8,218,805	8,485,748
・書籍、報告書	1,514,526	2,155,460	2,296,385	2,891,045
・研究データ	332,895	388,951	1,919,089	2,036,911
・eラーニング	3,645	4,521	4,961	5,443
・汎用データ	1,680	3,257	4,467	36,283

- ・ 正会員数、準会員数とも伸びを示している。正会員は公的研究機関、学会、大学、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 令和 6 年度に続き各会員によって着実に DOI 登録が進められた。主な登録例としては、国立国会図書館約 61 万件（主に書籍・報告書等）、NII 機関リポジトリ約 10 万件（主に論文・研究データ等）、J-STAGE 利用学協会約 14 万件（主に論文等）、医学中央雑誌刊行会約 3.5 万件（主に論文等）など。
- ・ DataCite への DOI 登録件数は累計 5,884 件となった。
- ・ DOI 登録件数は 1,300 万件を突破した。
- ・

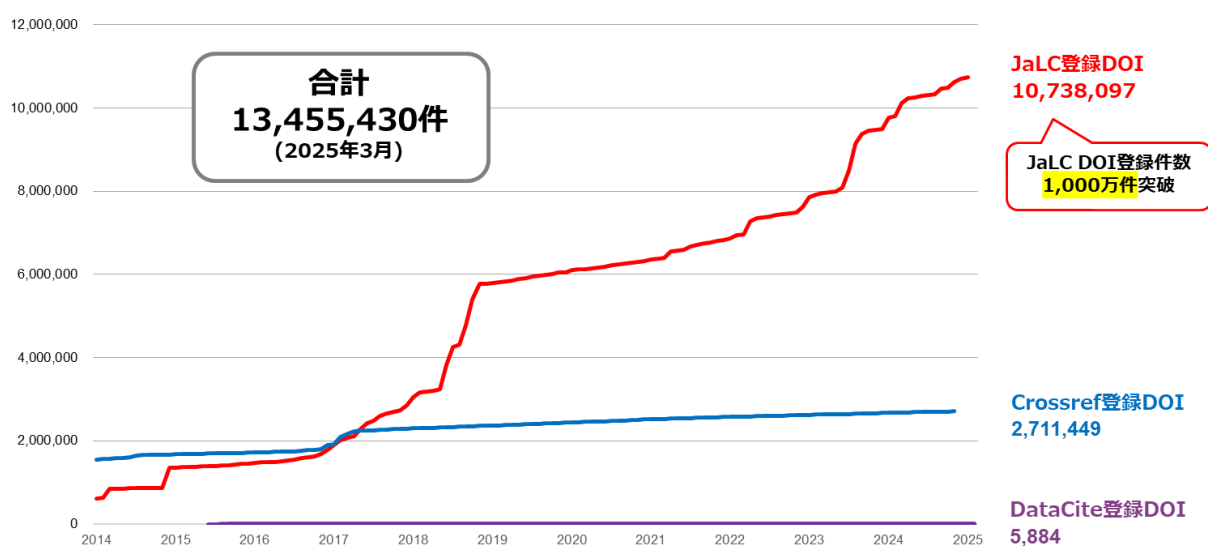


図 1. DOI 登録件数の推移（令和 7 年 3 月末時点）

## (2) 入退会対応業務

正会員の入会希望の申し出を受けて、6機関を対象に入会説明やデータ登録デモを行った。以下7機関が新たに入会した(昨年度に入会説明会を受けている機関を含む。入会打合せを行った2機関は来年度正会員入会予定)。一方で、J-Stage参加に伴い退会した正会員が2機関あり、正会員は計81機関となった。また、準会員として152機関が新規で入会した。(令和7年3月31日時点)

### [新規正会員]

- 理化学研究所 情報システム部 研究基盤課
- 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所
- 一般社団法人ソフトウェア情報センター
- 東海国立大学機構 名古屋大学 糖鎖生命コア研究所
- ナカシャクリエティブ株式会社
- アドバンスソフト株式会社
- 日本腰痛学会

### [退会した正会員]

- 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構(IHEP)
- 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所

## 4. その他、JaLCの運営に関する一切の事務<sup>1)</sup>

### (1) JaLC運営に関すること

- ジャパンリンクセンター新ストラテジーのロードマップ公開  
「ジャパンリンクセンター新ストラテジー2023-2027」(令和5年3月公開)のロードマップをWEBサイトに公開した。ロードマップは、ストラテジーの各アクションを実現するための具体的な実施事項をとりまとめたもの。
- DOI Foundation 対応  
定期会合(オンライン・6週間ごと)、年次会合(オンライン)、年次会合(対面・ハーク)に参加し、運営に関する協議やWebサイト・DOI Handbook更新のレビュー等を実施した。

### (2) 会員への対応、サービス・情報提供

- コンテンツ登録マニュアル XMLフォーマットガイドのHTML化

---

1) ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号

令和 5 年度の【研究データ】に続き、【ジャーナルアーティクル】(XML フォーマットガイド) の HTML 版を公開した (令和 7 年 3 月)。

- 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版の公開

平成 27 年の初版から 9 年ぶりに改定された「研究データへの DOI 登録ガイドライン」を公開 (令和 6 年 6 月 3 日発行、発行者: 研究データ利活用協議会 (RDUF) 研究データへの DOI 登録促進小委員会、JaLC 運営委員会)。新たに「3. 研究データへの DOI 登録の方針」や、研究機関における研究データへの DOI 登録や活用事例を拡張した他、全面的に改定した。

(3) 海外の情報サービス機関との連携

令和 5 年度に連携を開始した Open Citations、CHORUS、Unpaywall および今年度新規に連携開始を考えている CORE の現状は以下。

- OpenCitations: 令和 5 年 12 月 1 日に先方が発表(\*1)したように、先方の OpenCitations Index に JaLC DOI が付与されたコンテンツに記載された引用情報が取り込まれており、<https://opencitations.net/index> にて公開されている。先方若手研究員のペーパー The Integration of the Japan Link Center's Bibliographic Data into OpenCitations(\*2)に JaLC への謝辞が記載されている。

以降 JSON 形式のダンプファイルがリリースされる都度先方に送付している。令和 6 年 12 月にリリースした JSON 形式ダンプファイル最新版のダウンロード情報を送付した。先方のアップデートのタイミングで新しい情報が追加される。

\*1: @opencitations (X, 2023/12/1)

<https://x.com/opencitations/status/1730272932247581039?s=20>

\*2: <https://doi.org/10.5334/johd.178>

- CHORUS: 令和 5 年 10 月以降、JaLC DOI コンテンツの取り込みを月次で行い、CHORUS の各研究機関ダッシュボード及び資金配分機関ダッシュボードに反映されている。毎月先方の取り込み条件(ファンダー名とファンダーID)を満たす DOI リストを送付している。令和 6 年 3 月現在 1,832 件。
- Unpaywall: JaLC DOI コンテンツの取り込みを実施、残作業として OA 種別の情報を付加後にリリースされる予定。後継プロジェクトの OpenAlex の中で取り込む計画との連絡を受けている。
- CORE: 連携に必要なツールを令和 7 年 1 月にリリースし、現在最終調整中。

(4) 普及・広報

① JaLC WEB サイトリニューアル

WEB サイトのレイアウトや構成を見直し、必要な情報にアクセスしやすく改善。「目的別」で探すナビゲータを追加し、目的から情報にアクセスできるようにした他、過去イベントにおける各機関からの発表資料を整理し活用しやすくした。

② 表2のとおり DOI の普及・広報を行った。今年度は、オンラインに加え、ハイブリッド開催も定着した。

表2. 令和6年度の普及・広報

主催イベント
JaLC ミニセミナー -DOI と DOI 登録の基礎- (令和6年11月18日、オンライン) 理解を促進し会員間の議論を活性化することを目的に令和5年度に開始した「JaLC 説明会」を JaLC ミニセミナーとしてリニューアル。DOI や JaLC の基礎的な事項について説明や、FAQ の紹介、参加者からの質疑への応答を行った。講義資料・動画・当日の Q&A を WEB サイトで公開。
第11回「対話・共創の場」(令和7年1月27日、JST 東京別館・オンライン) 「即時 OA 方針の推進に向けての課題共有」をテーマに、招待講演、話題提供講演やパネルディスカッションを行った。また、現地参加者限定で、講演者と参加者による意見交換会を実施した。講義資料・動画を WEB サイトで公開。
共催・関連イベント、発表など
JOSS2024 (令和6年6月17日、オンライン) RDUF の部会「JDARN」と小委員会「研究データへの DOI 登録促進小委員会」がセッション D1「研究データのメタデータのあるべき姿とは？」を開催した。
JCK 会合 (令和6年9月4日-6日、中国・成都) JST・中国科学技術情報研究所 (ISTIC)・韓国科学技術情報研究院 (KISTI) が情報交換や人材交流を目的に1年半ごとに開催する会合。事務局が参加し、日本の研究データ利活用促進政策と地域型 DOI 登録機関としての JaLC の取り組みについて発表した。
RDUF 公開シンポジウム (令和6年12月4日、JST 東京別館・オンライン) RDUF 会員や小委員会、部会による活動、成果物等の紹介や、研究データの利活用に係る招待講演等を行った。今回、初の試みとして現地参加者限定のポスターセッションを実施した。

DataCite Connect Meeting (令和 6 年 6 月 10 日、チェコ・プラハ) DataCite 主催のイベント (PID fest と併催) にて、事務局から研究データへの DOI 登録における JaLC の役割について発表した。
ICSTI 年次大会 (令和 6 年 6 月 14 日、チェコ・プラハ) International Council for Scientific and Technical Information (ICSTI) (PID fest と併催) にて、武田委員長が日本の PID の状況について発表した。

③ JaLC NEWS の配信

JaLC 正会員に向けて、令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月の第三水曜日に JaLC NEWS (メールマガジン) を配信し、サービスのリリースやイベント情報等について情報提供を行った。

— 以 上 —